

当事者から学ぶ

こころのバリアフリー

〜視覚障害のある人〜

三十四歳、職業はピアニスト

ボクには夢があります



ここぱりこまきでは、これまで3回にわたり「当事者から学ぶこころのバリアフリー」をテーマに、聴覚障害のある人、精神障害のある人、知的障害のある人のお話を聞いてきました。今回は、視覚障害のあるピアニスト小島怜さんをお迎えし、これまでの道のりや、日々の暮らしの中で感じていることなどをお話していただきます。

2020年2月8日(土)

10:00～11:30(9:45 開場)

ふれあいセンター3階大会議室

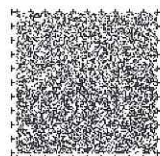
定員 100名(先着順)・参加費無料

手話通訳・UDトークあり

※申込み方法は裏面をごらんください



スマートフォンのアプリ(Uni-Voice)を使って右のコードを読み取ると、このチラシの内容を音声で聞くことができます。



主催：ここぱりこまき

ピアニスト 小島怜(こじまりょう)さん

愛知県小牧市出身。小学校4年生よりピアノを始める。

2004年3月 愛知県立名古屋盲学校高等部普通科を卒業。同年4月、筑波大学附属盲学校(現筑波大学附属視覚特別支援学校)専攻科音楽科へ入学。

2006年11月 ヘレンケラー記念音楽コンクールにてピアノ部門第3位となる。

2007年3月 筑波大学附属盲学校専攻科音楽科卒業。同年4月、名古屋芸術大学音楽学部演奏学科ピアノコースへ入学。在学中、大学主催の多数の演奏会へ出演。

2011年3月 名古屋芸術大学音楽学部演奏学科ピアノコース卒業。同年4月、名古屋芸術大学大学院音楽研究科ピアノコースへ入学。同年8月、横浜国際コンクールピアノ部門一般の部において入選。

2013年3月 名古屋芸術大学大学院音楽研究科ピアノコース修了。修了演奏会にてモーツァルト作曲ピアノ協奏曲第24番をオーケストラと共演。

2018年5月 音楽の都ウィーンにて、企画演奏会を開き、ウィーンの方々から称賛を受ける。同時に、ザルツブルグ音楽院講師ヴェルナーレンベルク師から指導を仰ぎ、評価していただく。

現在は、後進の指導にあたるかわら、多数の演奏会へ出演。ソロを中心に、ピアノデュオやヴァイオリン・声楽などの伴奏者としても活躍中。ポルタメント小牧会員。



当事者から学ぶこころのバリアフリー～視覚障害のある人～ 申込書

FAX 052-308-6867

2月7日(金)締め切り

① 氏名	② 連絡先	③ 所属する団体など	④ 障害について必要な配慮

※④は障害が理由で配慮が必要な場合にご記入ください。準備の都合のため、申込みの時期によっては、ご希望に添えない場合があります。

※お申込みの受付については、定員を超えて参加いただけない場合のみ、ご連絡いたします。

ここぱりこまきは、小牧市で障害のある人もない人も暮らしやすいまちをつくるために、こころのバリアフリーを進める活動をしている市民活動団体です。2008年の設立以来、障害のある人の暮らしを知るためのビデオ制作や上映会のほか、バリアフリーコンサート・講演会・研修会などを開いてきました。また2014年度には、小牧市との協働で「小牧市権利擁護のあり方検討事業」を実施し、それがきっかけとなって2017年に尾張北部権利擁護支援センターが設置されました。

<申込み・問合せ先>

ここぱりこまき

FAX 052-308-6867

(インターネットファックスのため名古屋市局番)

E-mail mail@kokobari-komaki.net

スマホ用申込フォーム

